

(様式例第11)

地長機医事第 号
令和 年 月 日

長崎県知事 大石 賢吾 殿

住 所 長崎市新地町6-39
申請者 地方独立行政法人長崎市立病院機構
氏 名 理事長 門田 淳一

長崎みなとメディカルセンターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒850-8555 長崎市新地町6-39
氏名	地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事長 門田 淳一

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

長崎みなとメディカルセンター

3 所在の場所

〒850-8555 長崎新地町6-39	電話 (095) 822 - 3251
------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	6床	13床	床	494床	513床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター装置、自家発電装置、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置
化学検査室	(主な設備) 電気化学発光免疫測定装置、生化学自動分析装置、グリコヘモグロビン測定装置、血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置
細菌検査室	(主な設備) 血液培養自動分析装置、抗酸菌分離培養装置、同定感受性検査システム
病理検査室	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫装置、自動封入装置、クリオスタット
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置
研究室	(主な設備) プロジェクター、モニター、電子カルテPC
講義室	室数 1 室 収容定員 150 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 2500冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 33.93 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		88.4%	算定 期間	令和5年 4月 1日～ 令和6年 3月 31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		174.2%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			7,605人	
	B：初診患者の数			8,599人	
	C：逆紹介患者の数			14,983人	

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 (令和3年3/31現在)

No.	職種	氏 名	勤務の態様		勤務時間	備考
1	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
2	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
3	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
4	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
5	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
6	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
7	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
8	医師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
9	看護師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
10	薬剤師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
11	放射線技師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	
12	臨床検査技師		☒ 常勤 ☐ 非常勤	☒ 専従 ☐ 非専従	38.75	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	12床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
手術室（9室）	418.63㎡	（主な設備）手術台、モニター、無影灯、麻酔器、顕微鏡、電気メス、手術用内視鏡システム、除細動器、患者加温装置、血液ガス分析装置	可
ハイブリット手術室	53.3㎡	（主な設備）アンギオ装置、モニター、電メス、除細動器	可
初療室	116.6㎡	（主な設備）無影灯、エコー、人工呼吸器、モニター、ストレッチャー、麻酔器、除細動器、輸液加温装置	可
放射線室	304.1㎡	（主な設備）一般撮影4室、血管造影室2室、CT室2室それぞれ一般撮影機器、血管造影装置及びCT設置	可
	㎡	（主な設備）	

4 備考

心臓血管内科、脳神経内科・外科においては医師直通のホットラインにより24時間対応可。小児科においても医師を24時間配置。

（注）特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,044人 (2,244人)
上記以外の救急患者の数	3,824人 (974人)
合計	7,868人 (3,218人)

（注）それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

対象述べ病床数 7,320床
利用回数 38回
共同利用を行った医療機関延べ数 38 (①)
上記の内、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 38 (②)
共同利用率 100% (②/①×100)
利用延病床数 38床
病床利用率 0.52%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建物全部(病棟、手術室等)
設備 CT、MRI、RI、血管連続撮影装置、腹部エコー他
機器 上記に付随する器械及び器具一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名 :
職 種 : 事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙1のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

20床

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙2のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	16回
(2) (1) の合計研修者数	810人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無
イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	呼吸器内科	院長	42年	研修責任者
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	93.05㎡	(主な設備) プロジェクターおよびモニター
研究室	14.35㎡	(主な設備) プロジェクター、モニター、電子カルテPC
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長		
管理担当者氏名	医事課長 看護部長	薬剤部長	

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各該当課及び室、科にて保管	日誌、診療録、エックス線写真にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	患者総合支援センター	年ごとに帳簿管理
	救急医療の提供の実績	医事課	年ごと、月ごとにデータ管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	企画総務課及び医事課	研修実施
	閲覧実績	医事課	年ごとにデータ管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	患者総合支援センター	年ごと、月ごとにデータ管理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長
閲覧担当者氏名	医事課
閲覧の求めに応じる場所	1階相談室
閲覧の手続の概要 依頼時に必要用紙に記載してもらい、本人確認をする。 後日書類の受け渡し等行う。	

前年度の総閲覧件数		71件
関 覧 者 別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	71件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
令和5年6月19日 対面会議 令和5年9月8日 対面会議 令和5年11月22日 対面会議 令和6年2月26日～令和6年3月13日 書面会議 ＜議題＞ 1. 患者数統計について (1) 患者数統計について (2) 歯科事業統計について (3) 診療科別患者数統計について 2. 地域医療支援病院紹介率について (1) 地域医療支援病院紹介率について (2) 地域別紹介・逆紹介件数について 3. 救急受入患者について (1) 救急搬入患者内訳について (2) 救急車搬送件数内訳について (3) ヘリ搬送内訳について 4. 共同利用の実施について 5. 相談件数等について 6. 地域医療従事者に対する研修について 7. そのほか委員会全般についてのご意見・ご質問等について		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	
患者相談件数	4,095人

患者相談の概要

相談人数については、2023年度は4,095人で前年度と比較すると355人増加。相談内容は退院・転院調整の相談が最も多く、2023年度は86.1%と上昇、平均在院日数の短縮傾向により退院・転院促進が行われていることが背景にある。一部病床制限あり予定入院者をコントロールする一方で、救急搬送困難症例の一時収容機能により軽症患者や社会的入院の患者等が夜間・休日等の時間外に入院し、ベッドが逼迫することが多い。早期の退院転院調整、その他困りごとに関しては、早期から院内外との連携のもと相談支援体制を充実させ患者や家族の不安軽減に努めている。

がん相談については、2023年度は2022年度よりも197人の増加で、コロナ前の水準に近づきつつある。退院時共同指導料の年度比較について、在宅医療との連携時に行う退院時共同指導・退院前に実施したカンファレンスの数について、2023年度は2022年度と比較して10件の減少で33件実施。地域との連携を今後も促進できるよう努めていく。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 令和5年12月に日本医療機能評価機構の病院機能評価認定病院（一般病院2<3rdG:Ver. 2.0>）受審。 令和6年3月付で更新。	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 定期的な広報紙の発行。 定期的な病院ホームページの更新。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 退院調整部門の患者総合支援センターに部門専従社会福祉士1名、専任看護師1名、退院支援職員（社会福祉士6名、看護師3名）を配置し、病棟担当制をとり退院支援スクリーニング・アセスメントシートを用いて退院支援が必要な患者を抽出し、急性期病院として入院早期から相談対応し退院、転院、在宅移行を円滑にできるよう患者や家族の相談支援及び退院調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、前立腺がん、膵がん 上記疾患において関連医療機関と連携をとりながら運用している。 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 医療機関の連携を強化し、利用率を向上させていく。	

地域医療従事者に対する研修について（令和5年4月～令和6年3月）

講演会・研修会 目的：当院の診療状況を発信する事で、地域医療機関・その他の医療従事者との連携を深める

No.	開催日時	演題	講師（敬称略）	主催/共催	参加人数	うち院外参加人数
①	R5年5月10日（水） 18：30～19：30	長崎みなとメディカルセンター救命救急センター 長崎市消防合同勉強会	（当院救命救急センター診療部長） （当院心臓血管内科医師）	共催	99名	50名
②	R5年5月26日（金） 17：30～19：30	クリティカルケア看護の専門性について	（関西医科大学附属病院看護部管理部長）	主催	56名	15名
③	R5年8月21日（月） 18：00～19：30	脳卒中のチーム医療～当院の現状～	（当院脳神経内科医長） （当院脳神経外科医長） （当院リハビリテーション部系長） （当院患者総合支援センター医療ソーシャルワーカー）	主催	44名	10名
④	R5年8月25日（金） 18：00～19：00	脂肪肝について	（当院副院長兼消化器内科主任診療部長）	主催	37名	13名
⑤	R5年9月29日（金） 18：00～20：00	長崎みなとメディカルセンター救命救急センター 長崎市消防合同勉強会	※合同勉強会のため講師なし	共催	49名	34名
⑥	R5年10月12日（木） 19：10～20：30	妊産婦の感染症と抗微生物薬の使い方	（佐賀大学医学部附属病院感染制御科病棟助教）	主催	131名	115名
⑦	R5年10月19日（木） 19：10～20：10	シームレスな地域医療に貢献する抗がん薬治療のための薬物動態	（熊本大学病院薬理部・感染制御部）	主催	36名	33名
⑧	R5年10月27日（金） 18：00～19：00	研究倫理と研究管理	（北九州市立病院機構臨床研究推進センター）	主催	31名	18名
⑨	R5年12月19日（火） 18：00～19：00	臨床研究倫理講習会 「生命科学・医学系研究の倫理指針」 令和5年度改正の背景と留意点について	（長崎大学病院臨床研究センター長）	主催	35名	10名
⑩	R5年1月23日（火） 18：00～19：00	転移性骨腫瘍に対する治療～手術を中心に～	（当院整形外科主任診療部長）	主催	40名	11名
⑪	R6年2月2日（金） 19：00～20：15	ガイドラインを活用した制吐療法の実践と薬薬連携	（福岡大学薬学部救急・災害医療薬学 准教授）	主催	38名	31名
⑫	R6年2月22日（木） 18：15～19：00	糖尿病と肥満について 糖尿病治療と食事の役割	（当院糖尿病・内分泌内科主任医長・栄養管理部長） （当院栄養管理部長）	主催	38名	6名
⑬	R6年3月6日（水） 18：30～20：00	救命救急センター勉強会	（医療法人白鷺内科医院 院長）	主催	56名	39名
⑭	R6年3月8日（金） 18：00～19：00	乳癌はふえてくるの？ ～日本人女性に最も多い乳癌について～	（当院乳腺・内分泌外科医長）	主催	28名	11名
⑮	R6年3月15日（金） 19：10～20：30	病院研修で学んだこと～症例について～ がん薬物療法における医療連携～薬剤師がチーム医療のハブとなるために～	（クオール薬局小浜店薬剤師） （聖路加国際病院薬剤部調剤室室長）	主催	64名	61名
⑯	R6年3月30日（土） 15：00～18：00	チームワークを向上させる相手のタイプに合わせたやる気の引き出し方	（プラスコミュニケーションズ代表）	主催	28名	6名
合計					810名	463名

No.	医療機関名	医師名
001	奥内科医院	奥 保彦
002	たかすぎ内科クリニック	隆杉 正和
004	白井小児科クリニック	永野 清昭
006	のりむらクリニック	法村 大輔
007	さかぐち泌尿器科医院	坂口 幹
008	やない小児科医院	楊井 正紀
009	やない小児科医院	楊井 章紀
010	ちひろ内科クリニック	土屋 知洋
011	晴海台クリニック	柴田 茂守
012	吉田医院	吉田 光夫
013	原口医院	原口 千春
014	井石内科医院	米田 圭子
017	はやし小児科	林 克敏
018	横田医院	横田 実
019	おおの整形外科	大野 孝生
020	おおの乳腺・甲状腺クリニック	大野 毅
021	あきよし都美内科クリニック	秋吉 都美
023	まわたり内科医院	馬渡 一雄
024	はやしだ内科	林田 正文
025	岩永医院	岩永 信昭
027	さとう内科医院	佐藤 辰夫
028	元永内科クリニック	元永 一郎
029	たくま医院	詫摩 和彦
030	影浦内科医院	影浦 博信
031	松元クリニック	松元 定次
032	ながた大腸肛門クリニック	長田 康彦
033	ごんどう小児科	権藤 泉
034	ふくしまクリニック	福嶋 成幸
035	松尾内科医院	松尾 健吾
037	やまさき内科医院	山崎 英文
038	川本内科医院	川本 充
039	牟田産婦人科	牟田 邦夫
041	落内科医院	落 義男
042	広瀬クリニック	廣瀬 弥幸
044	川原内科クリニック	川原 健治郎
045	白髭内科医院	白髭 豊
046	麻生整形外科医院	麻生 英一郎
047	すぎやま内科・消化器科	杉山 英一郎
049	サイノ脳神経外科	道祖尾 伯史
050	山根内科胃腸科医院	山根 豊
051	のぼる内科クリニック	吉田 登
052	しながわ内科クリニック	品川 達夫
054	南長崎クリニック	難波 裕幸
055	サイクス外科医院	立石 修三
056	福田医院	高岸 有子
057	中村内科医院	中村 正幸
058	田中外科眼科クリニック	田中 ともゑ
059	田中外科眼科クリニック	田中 研次
060	みね形成外科・美容皮膚クリニック	峯 龍太郎
061	みね形成外科・美容皮膚クリニック	峯 友梨
063	宮崎内科医院	宮崎 正信
064	ゆきなり・クリニック	行成 壽家
065	藤田クリニック	藤田 晃
066	高橋整形外科クリニック	高橋 克郎
067	安井小児科医院	安井 誠
069	江上耳鼻咽喉科医院	江上 直也
070	三浦産婦人科	三浦 清樹
071	三浦産婦人科	三浦 佳由子
072	三浦産婦人科	梶村 秀雄

No.	医療機関名	医師名
073	三浦産婦人科	三浦 成陽
074	ヨゼフクリニック	高木 正剛
075	愛育小児科医院	田中 司
076	おおみや小児科医院	大宮 朗
077	星子医院	星子 浄水
078	星子医院	星子 龍英
079	井手外科医院	井手 聰
080	植松整形外科医院	植松 伸久
081	片山小児科医院	片山 和弘
082	岩永クリニック	岩永 大
083	出口小児科内科医院	出口 忠澄
084	中村内科クリニック	中村 憲章
085	田川耳鼻咽喉科診療所	田川 幸雄
087	おおくぼ乳腺クリニック	大久保 仁
089	コムロ耳鼻咽喉科クリニック	小室 哲
090	赤司消化器クリニック	赤司 有史
091	長崎みどり病院	上戸 穂高
093	あおぞら内科クリニック	笹山 一夫
094	有高クリニック	有高 知樹
095	白ひげ整形外科医院	白髭 章
096	藤井外科医院	藤井 卓
097	花みずきレディースクリニック	濱崎 哲史
098	花みずきレディースクリニック	犬塚 邦彦
099	花みずきレディースクリニック	宮本 正史
100	赤澤内科クリニック	赤澤 美保子
101	富永小児科医院	富永 典男
102	杉田レディースクリニック	杉田 豊隆
103	高木クリニック	高木 雄二
104	松原牟田内科小児科医院	牟田 隆也
105	西じま内科クリニック	西島 教治
106	はまのまち内科循環器内科	伊藤 昭
107	おおつる内科医院	大津留 泉
108	いとう内科医院	伊東 昭郎
109	こが内科外科クリニック	古賀 崇
110	藤瀬クリニック	藤瀬 直樹
111	安永脳神経外科	安永 暁生
112	ひさまつ腎・泌尿器科クリニック	久松 浩
113	中川外科医院	中川 元道
114	もとかわ耳鼻咽喉科	本川 浩一
115	ホーム・ホスピス中尾クリニック	中尾 勘一郎
116	近藤医院	近藤 敏
117	森医院	森 頼隆
118	野田消化器クリニック	野田 剛稔
120	しもむら産婦人科	下村 修
121	池田整形外科クリニック	池田 倫太郎
122	中西内科	中西 俊明
123	武田内科医院	武田 宜士
124	やまもと内科呼吸器クリニック	山本 眞志
125	ささの耳鼻咽喉科クリニック	佐々野 利春
126	黒岩医院	黒岩 正行
127	原田医院	原田 知行
128	津田眼科医院	津田 佳助
129	ふくだこどもクリニック	福田 友子
130	津田耳鼻咽喉科医院	津田 祥夫
131	長崎市高島国民健康保険診療所	川口 昭男
132	もとむら産婦人科医院	金子 啓二郎
133	中山小児科クリニック	中山 紀男
134	田村内科神経内科油木坂クリニック	岩永 圭介
135	つつみ内科クリニック	堤 恒雄

No.	医療機関名	医師名
136	山川内科	山川 賢一
139	やました内科	山下 まり子
141	深堀内科医院	深堀 茂樹
142	津田やすお眼科	津田 恭央
143	山口内科・循環器内科	山口 達之
144	あんず整形外科	高木 謙司郎
146	みどりクリニック	坂本 俊文
147	長与よこた眼科	横田 怜二
148	星野内科呼吸器科クリニック	星野 和彦
149	りゅうキッズクリニック	劉 美成
150	竹下内科医院	竹下 潤一郎
151	長崎市池島診療所	村川敏春
152	長崎市伊王島国民健康保険診療所	寺田 正純
153	新クリニック	森 貴俊
154	池田胃腸内科医院	池田 幸紀
155	天本内科医院	天本 大輔
156	諸熊医院	諸熊 正史
157	諸熊医院	高島 治子
158	おひさまこどもクリニック	尹 忠秀
159	牟田内科・循環器科医院	牟田 啓三
160	森こどもクリニック	森 了吾
161	せとぐち外科クリニック	瀬戸口 正幸
162	平井内科医院	平井 義修
163	みきクリニック	杠葉 美樹
164	高村内科医院	高村 邦彦
165	伊藤クリニック	伊藤 年徳
166	櫻川循環器内科クリニック	櫻川 浩一郎
167	かたやまハートケアクリニック	片山 徹郎
169	さくら形成クリニック	鬼塚 圭子
170	阿保外科医院	阿保 貴章
171	みやぞえ小児科医院	宮副 初司
172	佐藤クリニック	佐藤 英輔
173	井手内科クリニック	井手 政利
174	まさき内科呼吸器科クリニック	真崎 宏則
175	朝長整形外科クリニック	朝長 久雄
176	木谷医院	木谷 泰博
177	桑原医院	桑原 記久雄
178	山の手クリニック	中谷 晃
179	はらかわ内科クリニック	原川 誠二郎
180	松元リカバリークリニック	松元 志朗
181	金子眼科クリニック	金子 昌幸
182	右田医院	右田 礼二郎
184	諸熊内科医院	立石 訓己
185	鳴見台山中クリニック	山中 静夫
186	谷川放射線科胃腸科医院	谷川 健
187	きのしたこどもクリニック	木下 英一
188	こもり内科医院	小森 宗敬
189	麻生外科医院	平田 恵三
190	さとう内科医院	佐藤 剛
191	平松クリニック	平松 征生
192	天野内科	天野 秀明
193	ハシモト耳鼻咽喉科医院	橋本 清
194	佐藤和眼科医院	佐藤 和雄
195	松本循環器内科医院	松本 保和
196	しまながクリニック	嶋長 正樹
197	高原中央医院	高原 聡
198	高原中央医院	須賀原 育子
199	さかもとクリニック	坂本 晃
200	吉見内科胃腸科	吉見 公三郎

No.	医療機関名	医師名
201	奥平外科医院	奥平 定之
202	森内科クリニック	森 久光
203	なかお耳鼻咽喉科	中尾 善亮
204	矢上藤尾大坪外科胃腸科	藤尾 俊之
205	黒部医院	黒部 勝則
206	せいごうクリニック	中村 清剛
207	中嶋クリニック	中嶋 眞
208	ながさき内科・リウマチ科病院	坪井 雅彦
209	秋山内科医院	秋山 盛登司
210	浦クリニック	浦 一秀
211	中田内科	中田 雅也
212	清原龍内科	清原 龍夫
213	清原龍内科	清原 龍彦
214	木下漢方内科クリニック	木下 節生
215	秋山眼科クリニック	秋山 和人
216	石川内科クリニック	石川 秀文
217	西田内科胃腸内科医院	西田 義之
218	戸田内科	戸田 源二
219	みのり会診療所	天本 俊太
220	三島内科医院	三島 致衍
221	あしざわ内科	芦澤 麻美子
222	ひぐち医院	城野 恵理
223	おおぞら整形外科	原田 真一
224	坂本内科	坂本 裕二
225	出口外科眼科医院	出口 雅浩
226	たがわ内科	田川 秀樹
227	長崎腎病院	船越 哲
228	長崎腎病院	原田 孝司
229	もりハートクリニック	森 秀樹
230	わたなべ小児科医院	渡辺 幹生
231	山崎医院	磯本 恵理子
232	猪狩医院	猪狩 民生
233	泉田外科	泉田 弘行
234	やなぎクリニック	柳 忠宏
235	やなぎクリニック	柳 忠道
236	さくら内科	佐々木 豊裕
237	山元内科	山元 秀文
238	たじま内科消化器内科	田島平一郎
239	神浦診療所	丸林秀太郎
240	藤本クリニック	藤本 正博
241	どうつ耳鼻咽喉科クリニック	道津 充
242	石川内科医院	石川 壽
243	香焼民主診療所	山道 和則
245	矢上藤尾大坪外科胃腸科	大坪 光次
246	山口整形外科医院	山口 重嘉
247	山口整形外科医院	山口 和博
248	みしま内科・消化器内科クリニック	三嶋 亮介
249	松崎内科循環器科	松崎 忠樹
250	森光泌尿器科クリニック	森光 浩
251	いわさきJクリニック	岩崎 貴裕
252	はたち耳鼻咽喉科クリニック	畑地 憲輔
253	大浦診療所	上尾 真一
254	かたやまハートケアクリニック	片山 二郎
255	川崎医院	川崎 智子
256	山崎医院	山崎 洋二
257	おくの内科クリニック	奥野 信一郎
259	新里クリニック浦上	新里 健
260	新里クリニック浦上	新里 健暁
261	新里クリニック浦上	松下 哲朗

No.	医療機関名	医師名
262	井川内科医院	井川 長年
265	糸柳プレストクリニック	糸柳 則昭
266	まつお産科・婦人科クリニック	松尾 敦
267	山崎整形外科医院	山崎 浩二郎
268	馬場医院	馬場 是明
269	まつもと内科・麻酔科クリニック	松本 正順
270	なかやま内科診療所	中山 史生
271	おぐし内科・眼科	小串 亮三
272	おぐし内科・眼科	小串 玲子
273	しもぐち内科	下口 和矩
274	宮村眼科	宮村 紀毅
275	安中外科・脳神経外科医院	安中 正和
277	なかしま内科クリニック	中嶋 寛
278	重工記念長崎病院	渡海 大隆
279	ながさきハートクリニック	坂井 秀章
280	しらいし胃腸クリニック	白石 良介
281	たちばなベイククリニック	今村 剛
282	たちばなベイククリニック	南 ひとみ
283	たちばなベイククリニック	南 一敏
284	たちばなベイククリニック	今村 汪
285	たちばなベイククリニック	安部 ひろみ
286	田中皮ふ科医院	田中 敬一
287	長崎宝在宅医療クリニック	松尾 誠司
288	山辺歯科医院	山辺 滋
289	山辺歯科医院	山辺 優美子
290	長崎けやき医院	山下 三千年
291	いまみち歯科医院	今道 友之
292	江良医院	江良 修
293	はらだ内科医院	原田 義高
294	ながさきひまわり眼科	藤田 皓
295	武藤内科循環器内科	武藤 成紀
297	築町クリニック	三島 一幸
298	かご町サトウ医院	佐藤 綾子
299	T・Iクリニック長崎～乳腺外科・婦人科	渡海 由貴子
300	たかの耳鼻咽喉科	高野 篤
301	ウチカラクリニック	森 勇磨
302	田栗レディースクリニック	田栗 博紹
303	もり脳神経外科クリニック	森 勝春
304	さかい循環器内科	坂井 健二
305	ほんだ内科・内視鏡クリニック	本田 徹郎

No.	医療機関名	医師名
-----	-------	-----

地方独立行政法人長崎市立病院機構長崎みなとメディカルセンター 開放病床運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長崎みなとメディカルセンター（以下「当院」という。）に設置する開放病床の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において開放病床とは、登録医（第4条第2項の規定により認定証を交付された者であって、同条第5項の規定により取り消しされていないものをいう。以下同じ。）が当院に診療情報提供書を提供し、入院させた患者に対し、当院に勤務する医師（以下「病院医」という。）と共同して治療にあたる当院内の病床をいう。

(開放病床の利用者)

第3条 開放病床を利用することができる者は、登録医とする。

(登録医の認定)

第4条 開放病床を利用しようとする医師は、長崎みなとメディカルセンター登録医申請書（第1号様式）に、次の各号に掲げる医師の区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げる書類を添えて、院長に申請しなければならない。

(1) 歯科医師以外の医師 長崎みなとメディカルセンター登録医情報（医科）
（第2号様式）

(2) 歯科医師 長崎みなとメディカルセンター登録医情報（歯科）（第3号様式）

2 院長は、前項の規定による申請があったときは、その内容を審査し、認定することを決定したときは、認定証（第4号様式）を当該申請を行った者に交付するものとする。

3 第1項の規定による申請内容に変更があったときは、速やかに長崎みなとメディカルセンター登録医変更・辞退届（第5号様式）を院長に提出しなければならない。

4 登録医の認定については、辞退の申し出がない限り、毎年自動更新とする。

5 院長は、登録医として不適格と判断した場合は、登録医の認定を取り消すことができる。

(規程の遵守)

第5条 登録医は、当院で共同指導を行うに当たり、当院の諸規程を遵守しなければならない。

(開放病床の利用)

第6条 登録医は、開放病床の利用に当たり、あらかじめ患者に対し、開放病床について十分に説明し、患者の同意を得なければならない。

2 登録医は、患者を開放病床に入院させようとする場合は、病院医に対し、診療情報提供書への記入その他の方法により、その旨を申し出なければならない。

3 前項の規定にかかわらず、患者が緊急で入院した場合であって、登録医が当該患者を開放病床に入院させようとするときは、病院医に対しその旨を申し出なければならない。この場合において、登録医は、当該申し出を行う前に当該患者又はその家族に対し、開放病床について十分に説明し、その同意を得るものとする。

4 前項の同意は、当該登録医の申し出により、当院の職員が患者又はその家族に対し、開放病床について十分に説明し、その同意を得ることをもってこれに代えることができる。

5 病院医は、第2項又は第3項の規定による申し出があったときは、当該患者を診察したうえで、開放病床の利用の可否を決定し、その結果を登録医に連絡しなければならない。

6 開放病床の入院に係る期間は、原則として2週間以内とする。

(共同指導)

第7条 登録医は、病院医と協議のうえ共同指導を行うものとする。

2 入院期間中は、病院医が主治医となり患者の治療にあたる。

3 登録医の共同指導にあたっては、名札及び白衣を着用するものとする。

4 登録医が行う共同指導の範囲は、口頭による説明のみとする。

5 共同指導を行う時間については、当院の休日を除く月曜日から金曜日までの午前8時45分から午後5時30分までとする。ただし、病院医が特に必要と認めた場合はこの限りではない。

6 登録医が開放病床で共同指導を行った場合、その共同指導に関する事項を登録医及び病院医は、当院の診療録に記載するものとする。

(医事紛争対応)

第8条 共同指導時に生じた医事紛争については、病院医及び登録医が協力して対応しなければならない。

2 共同指導の際に患者、家族その他関係者に損害を与えたときは、原則として当院が加入する損害賠償保険を適用する。ただし、登録医に重大な過失がある場合は、当院が負担した費用の一部又は全部を当該登録医に求償するこ

とができる。

(登録医の業務災害)

第9条 登録医が共同指導中に災害を被ったときは、当該登録医が加入する労働者災害補償保険、傷害保険その他これに準ずる保険により対処するものとする。

(登録医の研修・共同利用等)

第10条 病院医は、当院が実施する症例検討会、院内研修その他の会議に登録医を参加させることができる。

2 登録医は、当院の会議室、図書室その他病院医が必要と認める施設を利用することができる。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行し、第3条第5項の改正規定は、平成29年1月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成29年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月10日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成30年9月26日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現に改正前の地方独立行政法人長崎みなとメディカルセンター開放病床共同指導登録医運営要綱の規定により登録医の認定を受けた者は、改正後の第3条による認定を受けたものとみなす。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和6年6月11日から施行する。

(経過措置)

- 2 この要綱の施行の際現にこの要綱による改正前の地方独立行政法人長崎みなとメディカルセンター連携医運営要綱（以下「旧要綱」という。）第3条第3項の規定により連携医の認定を受けた者は、この要綱による改正後の地方独立行政法人長崎みなとメディカルセンター開放病床運営要綱第4条第2項の規定により登録医の認定を受けたものとみなす。
- 3 旧要綱に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。